

<平成 25 年度>

公共施設部の取り組み実績

施設整備室
新病院建設課

■ 基本方針 ■

市民の共有財産である公共施設としての品格性、快適性、機能性、安全・信頼性及び利用者満足度の向上に向けた効果的かつ効率的な建設、並びに維持保全を推進することを基本に、平成 25 年度は、投資的事業である新病院・新消防本部庁舎等の公共施設の整備を計画どおりに進めるとともに、市有建築物の長寿命化を図るための計画的保全と公共施設の耐震性を確保する耐震化工事を計画に沿って着実に進めます。

実績

- ・新病院や新消防本部庁舎等の整備事業を進めるとともに、計画に沿った市有建築物の保全及び耐震化工事を着実に進め、公共施設利用者の満足度や安全・信頼性等の向上に努めた。

I 重点施策・事業

◆市有建築物の計画的な保全

市有建築物を適正に維持保全するため、「市有建築物保全計画」に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、計画的に改修・更新工事を進めます。

【平成 25 年度工事実施予定】

- 小中学校以外の施設・・・43 施設
- 小中学校・・・24 施設

実績

- ・市有建築物保全計画に基づき、関係部署と調整を図りつつ予定通りの改修・更新工事を実施し、施設の適正な維持保全を図った。

◆市有建築物の耐震化

公共施設の安全に対する信頼性の向上に向け、「市有建築物耐震化実施計画」に基づき、幼稚園や保育所など市民利用施設の耐震化を進めます。

【平成 25 年度実施予定】

- 耐震診断を実施する施設・・・5 施設
- 耐震設計を実施する施設・・・6 施設
- 耐震改修を実施する施設・・・9 施設

実績

- ・市有建築物耐震化実施計画に基づき、市民利用施設の耐震診断と設計を進めるとともに改修工事を実施し、予定通り耐震化を着実に進めた。

◆新病院整備事業

二次救急機能や災害時の対応機能を有する「市立ひらかた病院」の整備工事を、平成 26 年秋の開院に向け円滑に施行推進します。

実績

- ・平成 23 年度から着手した建設工事について、関係部署と調整を図りつつ、平成 26 年 5 月 30 日の完成を目指し、適切に進行管理を行った。

◆新消防本部庁舎整備事業

デジタル化消防救急無線や最新の消防情報システムを備えた新消防本部庁舎を、平成 27 年度供用開始に向け整備工事に着手します。

実績

- ・平成 27 年度供用開始に向け、関係部署と調整を図りつつ、設計及び文化財調査を完了し、整備工事に着手した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
14. 市域全体の建築物の耐震性向上(市有建築物の耐震性向上)	平成 27 年度末までに耐震化率を 90%以上にす る。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度の耐震化に向けた取り組み（耐震診断 5 施設、耐震設計 6 施設、改修工事 9 施設）により、当該年度末の耐震化率は 92.5%となり市有建築物耐震化実施計画で定めた、平成 27 年度末目標の耐震化率を達成した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
20. 市有建築物の計画的な保全	財政負担の平準化を図りながら計画的に改修・更新工事を進める。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 市有建築物保全計画に沿って、予定通り市有施設(小中学校を除く) 43 施設、小中学校 24 施設の改修・更新工事を実施した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市有施設の環境整備業務については、関係部署との連携など効率的なあり方について検討する。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境整備業務のうち、草刈や樹木剪定については委託化を進め、他の直営業務の効率的な執行に努めるとともに、技能労務職のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市有建築物の計画的保全に係る効率的実施手法の構築	効率的・効果的な執行を図るため、先進事例の調査・研究を進める。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の保全業務にかかる各種委託を包括的に委託している千葉県流山市及び施設の保全計画を全国的にもいち早く策定し実施している東京都武蔵野市へそれぞれ視察を行い、本市施設における計画的保全の効率・効果的な執行に関しての情報収集を行うとともに、平成 26 年度の検討に向けて整理を行った。 	

テーマ	取り組み内容・目標
公共工事の品質確保	設計図書で定める品質及び性能を施工の各段階で確認し、品質の確保及び向上を図る。
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事施工にあたり、各担当者が設計図や仕様書等に基づき、適切に工事实施状況の確認を行うとともに、工事材料の試験及び検査に立会い、品質の確保に努めた。 	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆公共施設の整備にあたっては、現行の国庫補助制度はもとより、国等の動向を注視し新たに創設される補助制度の積極的な活用に努めます。

実績

- ・国の動向を注視する中、文部科学省の平成25年度補正予算における「学校施設改善交付金」を確保した。

- ◆公共施設の設計時には、品質を下げずにコストを下げる、あるいはコストを上げずに品質を向上させる設計VEの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績

- ・公共施設の設計に際し、工法や使用する材料について比較検討を行い、品質向上を考慮しつつコスト削減に努めた。

- ◆公共施設としての品格性、快適性、機能性、安全・信頼性及び市民の利用者満足度の向上など、施設整備に係る費用対効果の向上に努めます。

実績

- ・新消防庁舎の設計に際し、免震構造の採用による安全・信頼性の向上や、CASBEEによる環境配慮、施設の適正な維持管理に向けた長期修繕計画を作成するなど、費用対効果の向上を見据えた設計を行った。

- ◆省エネルギー化など施設のライフサイクルコストを考慮した施設整備に努めます。

実績

- ・各設備の整備に際し、省エネルギー面で有用なLED照明の採用や節水型の衛生器具を使用するなどライフサイクルコストを考慮した整備に努めた。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆部内全職員が部の運営方針に掲げた取り組み目標や課題を共有し、達成に向けて一丸となって取り組みます。

実績

- ・部内全職員が目標の達成に向けて取り組みむため、朝礼やミーティングなどを通じて目標や課題の共有化に努めた。

- ◆学校園の改修工事が集中する夏休み期間中など、工事繁忙期には、部内組織を柔軟かつ横断的に組織し、部内全職員が一丸となって取り組みます。

実績

- ・年間を通して部内組織を柔軟かつ横断的に組織し、平成25年度工事を予定通り円滑に実施した。

- ◆職場内におけるきめ細かなOJTの実施により、業務遂行上必要となる専門知識や技術等の向上と育成に努めます。

実績

- ・新入職員や若手職員等への、先輩職員の積極的な指導により、専門知識の習得や技術等の向上と育成に努めた。

- ◆国土交通省所管の国土交通大学校や(財)全国建設研修センター等の研修を積極的に活用し、公共施設の品質向上や業務を効率的かつ確に実施する業務生産性の向上に加え、新しい行政ニーズにも的確に対応できる人材の育成に努めます。

実績

- ・積極的な研修参加により、技術職員の知識、技術向上を図った。(財)全国建設研修センター コアパーソン育成派遣研修へ4名派遣)

V 広報・情報発信

◆市有建築物の耐震化状況の公表

耐震診断の結果及び耐震補強工事の実施状況をホームページ上で公表します。

実績

- ・耐震補強工事等の実施状況を、安全・安心情報として例年通りホームページ上に公表した。

◆工事施工状況等の情報発信

多くの市民が利用される施設など、関心度の高い施設の施工状況等をホームページや広報を通じてお知らせします。

実績

- ・新病院の建設状況について概ね1ヶ月毎にホームページ上に掲載した。また、市有建築物保全等にかかる改修工事について、例年通りその実施状況を公表した。